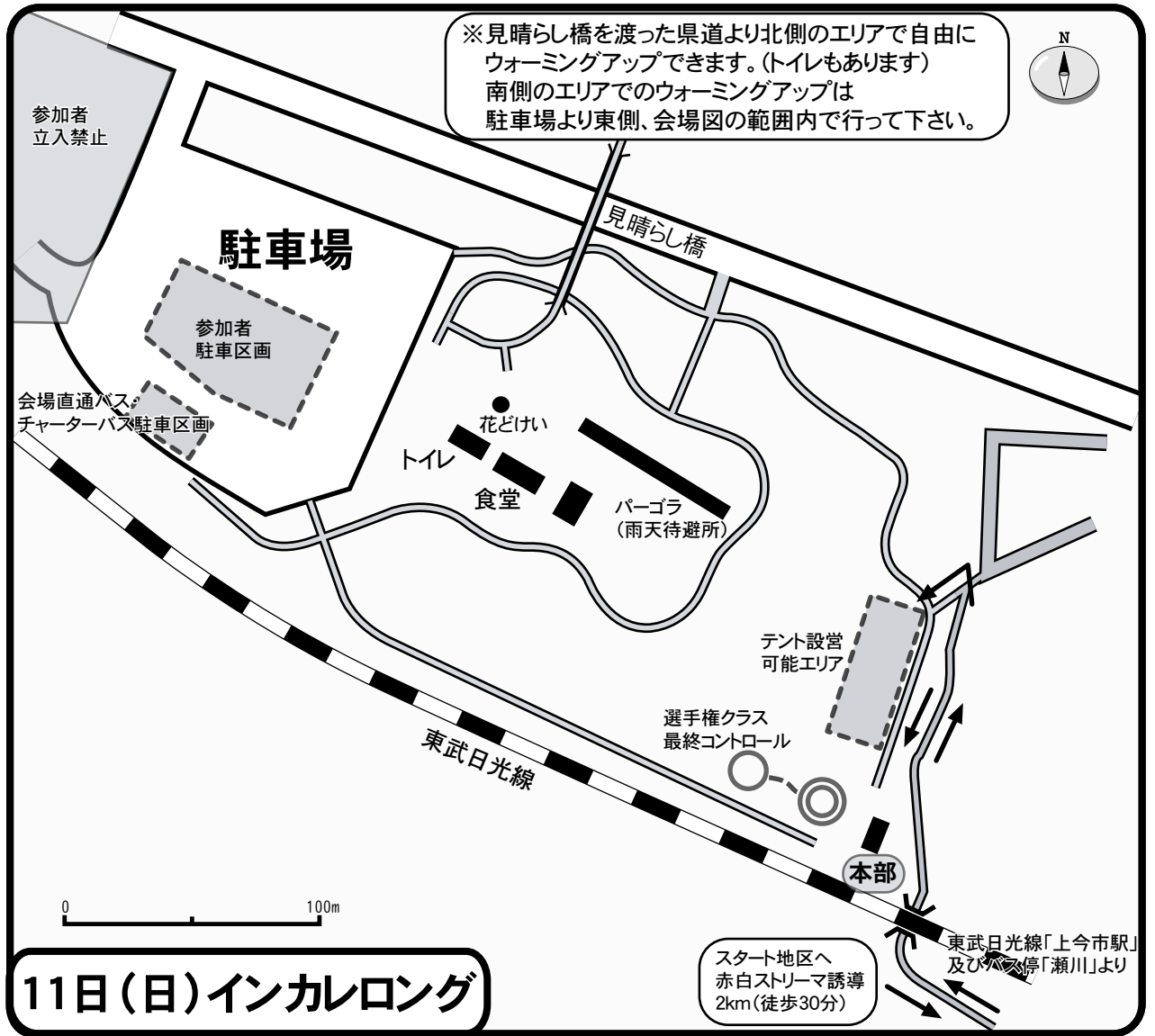


インカレロング2007
 日光市民オリエンテーリング大会、インカレロング併設大会
 11月10日(土)～11日(日)



タイムテーブル

11月10日(土)	
11:00～16:00	モデルイベント
16:00～16:30	代表者ミーティング
11月11日(日)	
08:00	開場
08:00～9:00	受付
08:30	開会式
09:31	スタート開始(一般・学生クラス)
09:58	スタート開始(選手権クラス)
12:00	最終スタート(選手権クラス)
12:30	スタート閉鎖
14:00	表彰式・閉会式
15:00	競技終了

インカレロング モデルイベント

日時：11月10日(土)
 受付時間 11:00-16:00
 テレイン閉鎖 16:00

- ◆インカレロングに参加する学生の参加方法
 学校ごとに受付配布する資料の中に、モデルイベント用の地図が入っているので、各自持って競技を行ってください。
- ◆事前にエントリー済みの一般の方参加方法

本部受付で地図をお渡ししますので、自由に競技を行ってください。

- ◆当日参加の方
 参加費(¥500)と交換に地図をお渡ししますので、自由に競技を行ってください。
 当日参加の受付は、地図が無くなりしだい終了します。

- ◆使用地図
 「日光野口2007」縮尺 1:15,000 等高線間隔 5m
 通行可能度 4段階表示 A4サイズ コントロール位置印刷済
 インカレロング選手権クラス競技用地図と全く同じ仕様(使用用紙、インクなど)
 同じ地図面には上記地図に並べ、モデルイベント用テレインの森林部分だけを抜き出して1:10,000仕様にした地図を掲載します。凡例はモデルイベント地図のみに掲載され、インカレロングの地図には、特殊記号のみ説明が記されています。
 モデルイベント地図は、耐水加工が施されていませんが、雨天時に限りポリ袋を用意する予定です。

- ◆テレインの概要
 モデルイベントで使用するテレインの範囲は、インカレロングで使用するテレインに隣接しています。傾斜度や山林部分の植生は、インカレロングのテレインの森林部分と類似しています。会場からモデルイベントテレインまではおよそ2000mの距離があります。モデルイベント地図には会場も記載され、テレイン

と移動に必要な道路は地図に掲載され道順を地図上にて指定します。移動にあたっては指定ルートを外れないようにしてください。

モデルイベントのトレインとなる森林部分や移動ルートの途中に基本的にトイレ・水場がありません。これらの用は会場で済ませてください。緊急避難的にモデルイベント地図範囲内にある日光宇都宮有料道路の日光口パーキングエリアのトイレを使用することができます。(原則的には使用しないでください)

日光口パーキングエリアは日光杉並木鑑賞用に外部に歩行者が出入りすることができる構造となっています。

◆マークルート区間の公開

モデルイベントの地図にて、インカレロング男女選手権クラスで実際にコースとなるマークルート区間を公開します。

マークルートの途中で JR 日光線の横断、国道の横断、給水所、コーチングゾーン、東武日光線の横断があります。誘導の方法などをモデルイベントで充分に取得していただき、インカレロング競技中にマークルートを安全に正しく辿るようにしてください。

マークルート開始地点のフラッグは大会競技直前に設置します。モデルイベントの時はまだフラッグが設置されていません。11月11日(日)の競技の際にコーチングゾーンに来るチームオフィシャルはモデルイベントの地図に従って会場から徒歩で移動してください。

◆競技の概要

インカレロング競技で用いる電子パンチングシステム (emit) のコントロールユニットの見本を会場内に設置します。モデルイベントの全コントロールフラッグとコントロールユニットは、インカレロングと同一仕様で設置されます。ただしモデルイベントの一部のコントロールでは、emit のコントロールユニットの設置を省略する場合があります。

スタート及び最終コントロールからの誘導を含めたフィニッシュの見本設置は、今回は行いません。誘導とフィニッシュ (パンチングフィニッシュ) の様子は、同時開催のスプリントイベントを参考にしてください。

モデルイベントでは計時は行いません。

e-card の内蔵時計を止めるためのリーディングユニットは本部に設置します。モデルイベント競技終了の際に利用してください。

コントロールは、インカレロングで使用するものと類似の特徴物に設置されています。

◆その他の注意

★ モデルイベントやコーチングエリアへの移動中に立入禁止区域に入ったり、フィニッシュ後の選手がスタート前の選手に競技情報を提供したりする事は厳禁です。

もしこれらの行為が発覚した場合、大学単位で失格等の処置を執る可能性があります。

・主催者は、出走登録・帰還管理などはしません。参加者自身の責任で 16:00 までには必ず競技を終了してください。

・仲間の帰還管理は、各クラブ内でお願いします。帰還が確認できない場合は直ちに本部に届け出てください。

・地図に示された範囲を越えてトレインに入ることは謹んで下さい。

・会場付近では、同時間帯でスプリント競技が行われています。モデルイベントの競技中であっても、スプリント競技を妨げないようにお願いします。

インカレロング代表者ミーティング

日時：11月10日(土) 16:00-16:30 (予定)

場所：モデルイベント会場

参加資格は特に指定しません。各大学の代表者のかたは集まってください。参加は必須ではありません。

ここで提供される新たな情報は、公式掲示板にも掲載します。

インカレロングの選手交代について

インカレロング選手権クラス参加者の交代を行う地区学連は代表者ミーティングの時に書面にて申請を行ってください。書面は地区学連ごとにA4サイズ1枚にまとめて提出してください。書式はフリーフォーマットです。

欠場する選手と出場する選手の参加クラス、氏名、学校名、学年を明記してください。

交代する選手の E-card とナンバーカードは、各地区学連の責任において交代する選手間で受け渡ししてください。受け渡しに関して、大会実行委員会は関与しません。インカレロング一般クラス・併設クラスでは選手の交代は禁止します。

会場案内

会場の日光だいや川公園は一般の方が多く利用される公共施設です。一般利用者の邪魔にならないようご注意ください。

駐車場の開門時間は 8:00 です。それ以前は閉門しています。

前日までに受付を通らなかった大学は会場にて 8:00-9:00 の間に受付を済ませてください。

会場は屋外です。クラブテントの持参をお勧めします。

クラブテントエリアは芝生広場です。細かいテント用ベグを打ち込むことができます。

本部テント横に公式掲示板を設置します。

ウォーミングアップはスタート地区までの誘導区間の間で行ってください。日光だいや川公園北部(見晴橋を渡った公園北側)も使用できます。

ただし日光だいや川公園北部では金属ピンつきシューズの使用を禁止します。(芝生養生のため)

日光だいや川公園北部には十分な広さがあります。

トイレ、ウォーミングアップにご利用ください。

主管者(インカレロング)連絡先

選手権変更届・オフィシャル変更届の提出先も下記連絡先となります。

実行委員長：木村佳司(きむらけいし)

電話：090-3333-0893

E-mail kimura @ orienteering.com

裁定委員

インカレロングの裁定委員は、大会当日の公式掲示板にて発表します。

クラスと表彰

選手権の部

ME 男子、WE 女子

本大会で優勝した者を、2007 年度日本学生オリエンテーリング個人ロング・ディスタンス競技部門の選手権者とします。

上位 6 名を入賞者として表彰します。

学生一般の部

MUL1 男子上級者 日本学連登録 2 年目以降の者

MUL2 男子上級者 日本学連登録 2 年目以降の者

MUS 男子上級者 日本学連登録 2 年目以降の者

MUB 男子中級者 日本学連登録 2 年目以降の者

MUF 男子 日本学連登録初年度の者

WUL 女子上級者 日本学連登録 2 年目以降の者

WUS 女子上級者 日本学連登録 2 年目以降の者

WUB 女子中級者 日本学連登録 2 年目以降の者

WUF 女子 日本学連登録初年度の者

上位 3 名を表彰します。但し MF, WF は 10 位まで表彰します。

併設大会（事前エントリー者）に関する情報

MAL MUL1 と同じコース（男女）

MAS MUS と同じコース（男女）

M50A MUS と同じコース（男女）

MB MUF と同じコース（男女）

MN WUF と同じコース（男女）

WAL WUL と同じコース（女）

WAS WUS と同じコース（女）

W50A WUS と同じコース（女）

WB WUF と同じコース（女）

WN WUF と同じコース（女）

併設大会の表彰はありません。

開会式

8:30 から 10 分間程度の間で以下の内容を予定しています。

1. 開会宣言
2. 主催者挨拶
3. 優勝杯返還・レプリカ贈呈
4. 諸注意

観戦について

本大会は観戦者を受け入れます。

駐車券を持たないオリエンテーリング大会関係者のかたの、自家用乗り入れは固く禁止しています。公共交通機関を利用してご来場ください。

スタート

◆スタート地区に向かう前に

e-card のない人はスタートできません。各自スタートへ向かう前に会場で e-card の動作確認（アクティベート）を行なってください。

アクティベートはユニットに e-card をはめ込んで赤ランプが点滅することによって確認できます。赤ランプが点滅しない場合は、e-card 故障のおそれがあります。

受付で直ちに e-card の再発行（レンタル）を受けてください。

◆スタート地区への誘導

競技会場からスタートまでは、赤白ストリーマに沿って 2000m（徒歩約 30 分）です。すべてのクラスが同じスタート地区よりスタートします。

一般・併設クラスのフィニッシュから会場に戻る誘導路と、会場からスタートに向う誘導路の一部が同じになっています。一般・併設クラスのフィニッシュでは地図回収を行いません。これからスタートに向かう選手は、競技が終了した選手から情報を聞き出そうとしないようにしてください。会場とテレインの制約上でこのようなレイアウトになっています。

ご協力をお願いします。

◆スタート地区

e-card 若しくはナンバーカードが無い者、及び不備のある者はスタートできません。

チームオフィシャルはスタート地区に行くことができます。

自身の学校の選手のウェア類、飲料ボトルなどの運搬は各自の責任で行ってください。

◆ウェア類の運搬について

チームオフィシャルの居ない大学の選手のものに限り、主管者で服・傘・雨具のスタート地区から会場までの輸送を行います。

◆スタート地点の時計

スタート地点に時計を置きます。この時計は日本標準時（現在時刻）を示しています。

◆スタートの方法

スタート時刻 3 分前まで

e-card を所定のユニット（動作確認用ユニット）へはめ込み、e-card のアクティベート確認を行う。

アクティベートは赤ランプが点滅することによって確認できる。赤ランプが点滅しない場合は、e-card 故障のおそれがある為、直ちにスタート役員に申し出て e-card の再発行を受けること。

3 分前スタート枠に入る。

2 分前 1 つ前の枠に進む。

1 分前更に 1 つ前の枠に進み、役員から e-card の確認を受ける。

10 秒前役員の指示に従い、e-card をスタートユニットへはめ込む。スタートの合図と同時に離すこと。

スタートチャイマーの合図後、地図を取りスタートする。

スタート後赤白ストリーマ誘導（約 80m）に従ってスタートフラッグへ向かう。

スタートフラッグは地図上の△位置である。

テレインの概要

本競技会に使用するテレインの概要は以下の通りです。

- ・宇都宮日光自動車道路「日光 IC」から「今市 IC」にかけての森林一帯（テレイン南部）と日光だいや川公園の周辺部（テレイン北部）を使用します。
- ・標高 400m から標高 550m の間に位置します。

日光だいや川周辺部（テレイン北部）の概要

- ・日光だいや川公園（会場）と周囲の森林部分です。
- ・比高 50m 以内の平坦な地形で、森林部では、微地形が発達しています。
- ・大規模な公園部分では道が発達しています。
- ・立入禁止箇所が点在します。

森林部（テレイン南部）概要

- ・過去に作成された 0-map が存在します。
「日光口磐裂の霊水」（地図作成：2000 年 3 月）（旧七里 II）
- ・比高 100m 程度の丘陵地です。
- ・森林の内部を宇都宮日光自動車道路が通っています。
宇都宮日光自動車道路には競技中立入禁止です。
道路は立体交差などで横断できますが、横断箇所は限られています。
- ・全般的に道などの人工特徴物は多くありません。
- ・手入れされた人工林が面積の多くを占めます。耕作地は少ないです。
- ・森林の通行可能性は概して良いです。

テレイン北部と南部との連絡

- ・テレイン北部と南部は 2 本の鉄道と交通量の激しい 1 本の国道で分断されています。

競技について

◆競技時間

競技時間は選手権クラスでは 2 時間 30 分、一般学生クラス / 一般併設クラスでは 2 時間とします。この時間を超えた選手は失格とします。競技時間内にフィニッシュを通過するように、競技を中断してでも戻ってきてください。競技を途中棄権する場合でも、必ずフィニッシュに e-card を提示してください。これが不可能な場合は、最寄の役員に e-card を届けてください。

◆救護所及び給水所

競技会場本部テント付近に救護所を設けます。また、テレイン内に飲料水を用意した給水所を設けます。競技中に怪我人を発見した場合は、救護所またはフィニッシュの役員に連絡してください。すべての競技者及びチームオフィシャルは、競技より優先される不慮の事故が生じた場合は最寄りの役員に連絡するよう心がけてください。

◆採用するパンチングシステム

全てのクラスにおいて EMIT 社製電子パンチングシステム (e-card) を使用します。

e-card を忘れた方は、e-card 会場レンタルをご利用ください。前日までにレンタル処理をお願いします。大会当日レンタルを行った方は、参考記録とさせていただきます。指定された e-card 番号以外のものを使用した場合は失格とさせていただきます。

コースの概要

	クラス	距離	登距離	優勝時間
1	M E	11,100m	360m	80 分
2	W E	7,900m	180m	65 分
3	MUL1/MAL	6,200m	270m	50 分
4	MUL2/OAL	6,300m	260m	50 分
5	MUS/MAS/M50A	4,500m	180m	40 分
6	WUL/WAL/OAM	4,200m	170m	40 分
7	WUS/WAS/W50A/OAS	3,000m	130m	40 分
8	MUF/MUB/MB	3,900m	150m	40 分
9	WUF/WUB/WB/MN/WN	2,600m	50m	35 分

選手権クラス

テレイン南部の森林部からスタートし、テレイン北部にある会場にフィニッシュします。

テレイン南部からテレイン北部へ連絡する区間はマークトルートになります。

マークトルート区間で鉄道を 2 本、国道を 1 本渡ります。マークトルート区間内は安全に公平に移動できますが、マークトルート区間を外れた鉄道と国道の横断は危険です。この部分の移動は特に安全には充分注意してください。

男子選手権コースの距離の約 60% はテレイン南部の森林、約 40% が舗装道路部分とテレイン北部の平地林部分です。女子選手権コースの距離の約 50% はテレイン南部の森林、約 50% が舗装道路部分とテレイン北部の平地林な部分です。

給水所

給水所は男女クラスとも 2 箇所設置します。1 つ目の給水所は南側のテレインの中に設置します。殆どの選手の通ると想定しているルート近くに給水所を設置していますが、ルート選択によっては通過しない可能性があります。2 つ目の給水所はマークトルートの途中に設置します。男子選手権コースで給水所が現れる箇所はコース全体の 30% と 70% の箇所となります。女子選手権コースで給水所が現れる箇所はコース全体の 25% と 60% の箇所となります。

マークトルートの説明

JR 日光線の横断
JR 日光線は踏切で横断します。踏切は電車が走行中は通行ができなくなりますので以下のような手段でタイムロスすることなく、可能な限り公平な方法で横断していただきます。

JR 日光線踏切手前 80m の箇所にコントロールを設置します。このコントロールからマークトルート区間となります。JR 日光線踏切手前 10m からマークトルートが二手に分岐します。どちらのマークトルートを迎えるかは、マークトルート分岐に立つ誘導役員により指示されます。

マークトルートは2本あります、基本的には第一ルートを通ってください。第一ルートは目の前の踏切を渡るルートです。

目の前の踏切が渡れないときは第二ルートを通ってください。第二ルートはJR日光線と平行に道路を走り、数百m離れた踏切を渡り、第一ルートに合流します。

第一ルートを通ったときの距離・登坂と第二ルートを通ったときの距離・登坂は同一です。

第一ルートの踏切が渡れるにも関わらず、役員に指示に従わずに第二ルートに入った場合は、踏切によって通行が遮断される場合があります。この場合、失格にはなりません、通常の交通ルールに従って競技することになります。

この方法で、すべての選手が踏切に留まることなく、公平に競技ができます。実行委員会では電車の運行速度と競技時間などあらゆるパターンをシミュレーションしました。その結果公平に競技できると判断しました。このシミュレーション結果は大会webサイトに掲載します。

参考情報：JR日光線の踏切部分は単線です。列車すれ違いはありません。

国道の横断

マークトルートに従って必ず歩道橋で国道を渡ってください。給水所は歩道橋の入口に設置します。

東武日光線の横断

マークトルートに従って東武日光線の下を立体交差でくぐります。東武日光線をくぐったところでマークトルート区間は終わります。

マークトルート区間の下見・試走について

マークトルートの誘導を十分に認識していただくため、この区間をモデルイベントで開放します。実際にマークトルート区間の試走を行い、レース中にマークトルートから外れないように練習してください。安全に充分注意して十分に試走していただき、安全な競技を心がけてください。

コーチングゾーンの設定

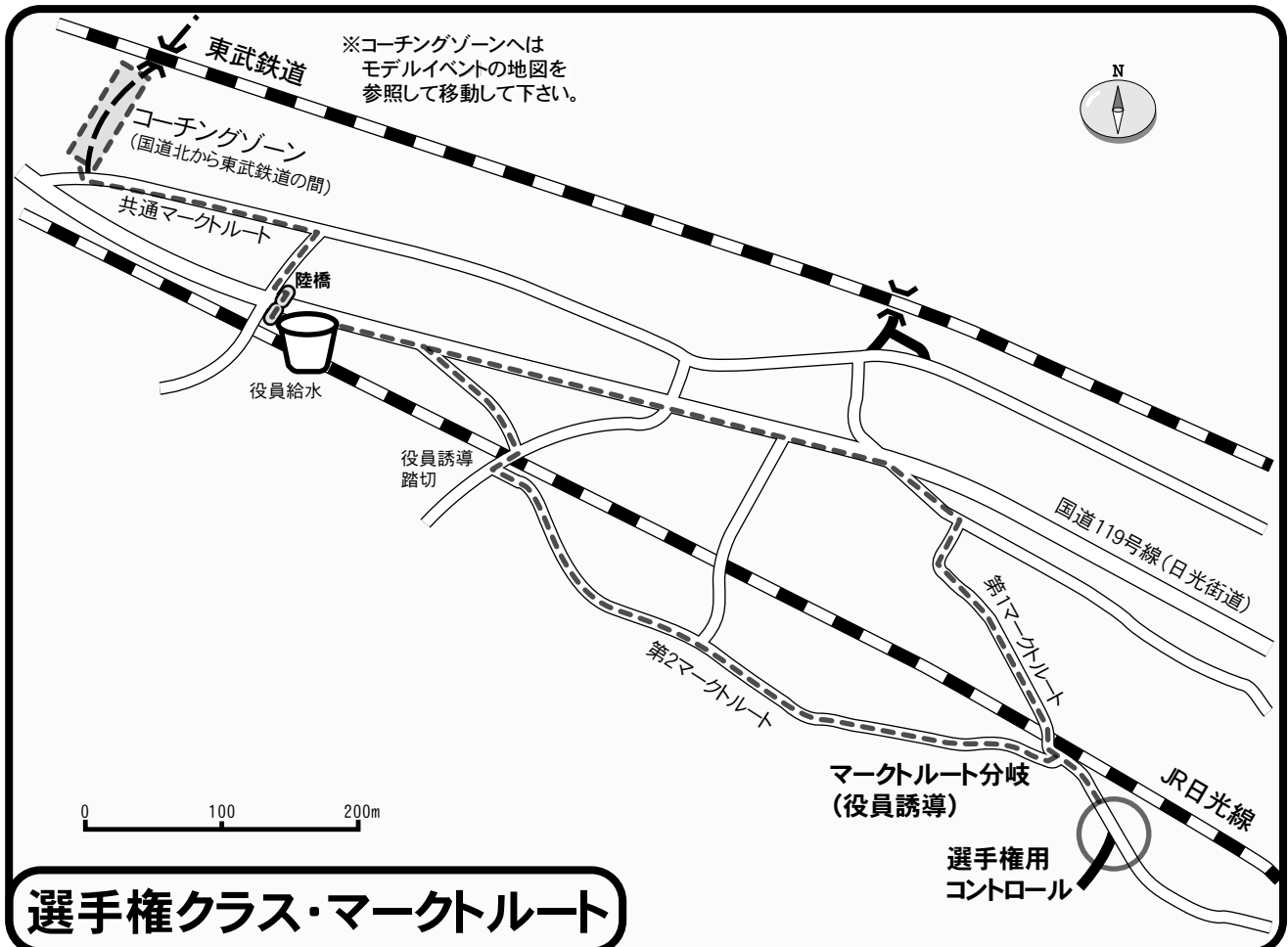
上記マークトルートの国道を横断した後から東武日光線を横断するまでの区間をコーチングゾーンとして設定します。コーチングゾーンでは給水などの補給を認めます。コーチングにあたるチームオフィシャルは選手の安全な誘導にご協力ください。コーチングゾーンは住宅地の中です。住民の迷惑になるような大声を出しての応援や、鳴り物の利用は遠慮ください。モデルイベントの地図に会場からコーチングゾーンへの移動方法を示します。モデルイベントの地図を参照してに移動してください。誘導はありません。

モデルイベントやコーチングエリアへの移動中に立入禁止区域に入ったり、フィニッシュ後の選手がスタート前の選手に競技情報を提供したりする事は厳禁です。

もしこれらの行為が発覚した場合、大学単位で失格等の処置を執る可能性があります。

一般クラス・併設クラス

競技はトレイン南部の森林部のみを使用します。トレイン北部にある会場とは徒歩で移動します。すべてのコースにおいて給水所の近くを通過します。



選手権クラス・マークトルート

地 図

地図の仕様

男女選手権クラス用地図

「日光口 2007」

縮尺 1:15,000、等高線間隔 5m、通行可能度 4 段階表示

A4 サイズ 耐水加工済み（ポリ袋入）

一般・併設クラス用地図

「日光和泉 2007」

縮尺 1:10,000、等高線間隔 5m、通行可能度 4 段階表示

A4 サイズ 耐水加工済み（ポリ袋入）

地図表記は ISOM2000 「International Specification for Orienteering Maps（国際オリエンテーリング地図規定）」に従っています。

上記規定の中には地図ごとに定義を定め、これを凡例に示すことで使用が認められている特徴物があります。この規定に従って以下のように記号を定めます。

黒の× 小さな神社

黒○中央にドット 石碑・石仏・ケルン

黒の○は使用していません。炭焼窯跡などは穴、凹地で表現してあります。

表記に関してはモデルイベントの地図凡例を参照して下さい。

インカレロング競技に使用する地図は凡例を省略しています。

地図上黒の縦ハッチ（常時立入禁止）の部分があります。

フィニッシュ

フィニッシュの場所

選手権クラスは会場にフィニッシュします。

一般クラス・併設クラスは、一般クラス用フィニッシュエリアにフィニッシュします。

最終コントロールからの誘導

最終コントロールからフィニッシュまで赤白色ストリーマ誘導です。

フィニッシュの方法

フィニッシュの方式は、パンチフィニッシュとします。計時線上にあるコントロールユニットによって e-card に記録されたタイムをフィニッシュタイムとします。

選手権クラスでは e-card とは別に計時員が記録を録っていますが、e-card の計時に疑義が生じない限り、e-card の計時時間を採用します。

計時線通過後は、役員に e-card を提示するまで追い越し禁止です。

e-card はフィニッシュでは回収しません。ただし失格などの疑いがある場合は回収させていただくことがあります。

バックアップラベルを紛失した場合でも、e-card の電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば失格とはなりません。

地図回収

選手権クラスではスタート最終時刻まで地図回収を行います。回収できない場合は失格とします。

一般・併設クラスのフィニッシュでは地図回収を行いません。

フィニッシュから会場への移動

一般クラス・併設クラスのフィニッシュから会場まで 2000m（徒歩約 30 分）です。競技に使用した地図に会場までのルートを入力しておきます。地図を見て会場まで戻ってください。途中から会場からスタートに向う誘導路を逆行するルートになります。競技が終了した選手はこれからスタートに向う選手に情報を出さないようにお願いします。会場とテレインの制約上でこのようなレイアウトになっています。ご協力をお願いします。

その他の注意

★フィニッシュでの調査依頼などは一切受け付けません。調査依頼は大会本部で受け付けます。

★競技を中断する場合でも、必ずフィニッシュに e-card を提出してください。これが不可能な場合は、最寄りの大会役員に e-card を届けてください。

★競技が終了した参加者は、コースやテレイン内の情報をスタート前の選手に提供するような行為を行わないでください。これは競技の公平性を保つ為です。ご協力をお願いします。

★選手権クラスの成績上位者は、フィニッシュ後すぐにルートを書いていただくことがあります。ご協力下さいますようお願いいたします。

表彰式・閉会式

表彰式

インカレロングの表彰に先立って、前日に行われたトレイル 0 の表彰式を行います。インカレロング表彰式は 14:00 頃より会場にて行う予定です。

選手権クラスは男女上位各 6 名を表彰します。

学生一般クラスについては MUF、WUF クラスの各上位 10 名を、その他のクラスの各上位 3 名を表彰します。

一般併設クラスの表彰はありません。

入賞者は掲示と放送によって発表します。入賞者は放送内容に注意し、表彰式開始までに表彰台近くに集合してください。

表彰者に花束を贈呈する場合には、あらかじめ舞台そでにお集まりください。

ただし、花束の贈呈は、表彰者 1 名に対し代表者 1 名とします。

閉会式

表彰式に引き続き会場にて閉会式を行いません。以下の内容を予定しています。

1. 総評
2. 実行委員長挨拶
3. 次回への引き継ぎ
4. 閉会宣言

e-card の返却

レンタルした e-card は、日光での 2 日間イベントの期間中同じものを使います。

レンタルした e-card は大学毎に配布した時の袋にまとめて入れて返却ください。

返却する前に、e-card は水でよく洗って返却してください。

未帰還者届の提出

各校の代表者は14:00の時点で自校の出走者の帰還状況を確認し、14:30までに未帰還者の有無に関わらず未帰還者届を提出してください。

14:00以前に出走者全員の帰還が確認された場合は、速やかに未帰還者届を提出していただいても良いです。

提出場所は本部です。

調査依頼・提訴

調査依頼

大会本部にて調査依頼を受け付けます。紙に書かれた文章で本部に提出してください。回答は、公式掲示板に掲示します。

成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ後1時間以内に行なってください。調査依頼には管理者が回答します。調査依頼の回答に疑義がある場合のみ、提訴を受け付けます。

提訴

選手権の部または、大会全体に関するインカレ実施規則に対する違反について、管理者の回答に疑義がある場合は提訴を行うことができます。提訴は裁定委員会に対して紙に書かれた文章で提出してください。

提出先は本部です。

提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものです。

関係者に通知されるほか、大会報告書にて報告されます。

シード選手

インカレロングのシード選手として以下の選手が指定されています。これらの選手はスタート時刻と間隔について配慮されています。

男子7名

長縄知晃（東北4）
千々岩瞳（東北3）
川添智由（筑波4）
茂木亮彦（東京4）
小山温史（東京工業4）
海老成直（中央4）
西村徳真（京都4）

女子7名

臼倉由起（岩手4）
阿部ゆかり（東北3）
稲葉茜（筑波4）
千葉妙（筑波4）
井手恵理子（日本女子4）
松永真澄（日本女子3）
関谷麻里絵（京都3）

チームオフィシャル

チームオフィシャルには以下の特典が与えられます。

・下記の場所にて選手をサポートすることが可能です。

スタート地区

コース途中のコーチングゾーン

（選手権クラスのみ、会場案内図参照）

・競技終了後、選手権クラスの地図を1枚づつ配布

・スタートから競技会場への衣服、ゴミ類の運搬に積極的に協力願います。

チームオフィシャルリスト

学校名	氏名	学校名	氏名
岩手県立大学	安保寛明	茨城大学	武村法
岩手大学	幸村和美		田口裕也
宮城学院女子大学	菊池由喜	十文字学園女子大学	西郷貴洋
	柏倉桂介	千葉大学	保前保
東北大学	八神遥介		山本貴子
	高田英司	早稲田大学	寺垣内航
北海道大学	池陽平		今井直樹
京都大学	新宅有太	中央大学	金子竜太
	高田智実	東京工業大学	松井弘毅
	能勢晃司		羽賀岳尋
京都橘大学	横澤夕香	筑波大学	小泉成行
	金谷敏行		多田野清人
奈良女子大学	水野恵	日本女子大学	大迫響子
	玉木智子		石山佳代子
神戸大学	高橋大輔	東京大学	西郷貴洋
京都女子大学	新谷紗代子		長瀬裕樹
静岡大学	櫻木伸也		丹羽史尋
	西山洋生		浜端紀行
椋山学園大学	柴田理恵		山崎貴彦
	安斎秀樹		熊野匠人
名古屋大学	鈴木陽介	新潟大学	藤沼崇
	樽見典明		土田智宏
金沢大学	山田貴洋		清水恭平
	鶴田翔一		

日光の
空にはばたけ
燕達

最後までがんばれ

走りぬけ！

がんばれ！

東工大OLT

ME 小山温史

ME 村上一輝

ME 村上巧

皆様のご活躍
を期待して
おります

力出しきり
飛ばずはばたけ

From つばめ会



第23期

強い意志で走り切ってください。
青木博人(東京)

記録にも、記憶にも残るインカレに!
市村武文(東京)

いまできることを一つ一つやること——その積み重ねの先にしか結果はありません。皆さんの健闘をお祈りしています。
小熊武彦(東京)

まずは一番を落ち着いてとるべし。終始冷静に対処するべし。
久野雄介(東京)

みんなを応援しあって、山とインカレを楽しんで下さい☆
佐藤玲子(東京女)

年に一度の大イベントを楽しんでください。
関根亜希子(実短・中央)

前日はしっかり寝ること。
レース中は絶対にあきらめないこと。
仲間をしっかり応援すること。
ゴールで待ってるから、出来るだけ早く帰ってこい!!
浜端紀行(東京)

走る時も応援する時も、全力でインカレを楽しんでください!
安藤誠(東京)

自分を信じて、後悔しない走りをして!
ゴールには、一緒に頑張った仲間が待っています。
上野恵美子(東京女)

インカレの楽しみ方は人それぞれ。楽しんだもの勝ち。思いっきり楽しんでやって下さい!
川島沙耶香(東京女)

インカレはみんなが主役です。思いっきり楽しんで!
木暮なつ樹(東京女)

どんな状況になっても冷静に、最後まであきらめずに走ってください!
関戸紀子(津田塾)

日光の森は、どんな人にも、それぞれの実力に応じた楽しみ方を提供してくれる、優れた場所だと思います。
みなさんが、秋晴れの下で、思う存分にレースも応援も満喫できるよう祈っています。
森脇崇(東京)

第24期

体調を整えて、良いパフォーマンスを目指してください。
現役の皆様が楽しめるように願っております。
青木孝道(東京)

インカレはエリートだけのものじゃない。併設クラスを走るみんな、自分のレースに集中してベストを尽くそう。うまいことメダルをゲットしちゃおう。
田村優輝(東京)

思い切りインカレの雰囲気を楽しんでください。でも自分のレースはその雰囲気に飲み込まれずに冷静にまわってこよう。
熊野匠人(東京)

走り始めたら今までの努力を信じてレースに集中。がんばれ。そして周りを魅了する全力の走りを!!!
牧山知彦(東京)

第25期

11月11日ですね。
1ならひなで素敵の日ですね。
1位になったり、1番目立ったり、1番のレースを展開したり、1番かっこいい&1番かわいい姿を披露して、このインカレが、皆さんにとって1番最高の思い出になりますように!応援に行けないのが残念ではありません。
青島優(津田塾)

インカレはお祭り。
楽しみ方は人それぞれ。楽しんで来て下さい。
山口能迪(東京)

第26期

競技中時には苦しい時もあると思います。そんな時は応援してくれる仲間達を思い浮かべて下さい。
貴方は決して一人ではありません。そしてよく人を、仲間達を応援してください。その気持ちはきっと通じるでしょう。最後に怪我に気をつけて頑張ってください。
味岡知津子(実践)

トレの成果をぶつけるもよし、山を満喫するもよし!インカレはOLKで一番大きなイベントです。楽しみ尽くして下さい。そして今回は最後のICLになる27期へ。もう次はありません。燃えて燃えて、燃え尽きちゃって下さい。その思い出は、辛い時にも皆の心を支える強い強い柱になってくれるはずです。頑張ってください!
池田智子(津田塾)

せっかくのインカレなので目一杯楽しんで下さい。レースも応援も頑張った分だけいい思い出になるはずですよ。
佐藤啓史(東京)

やれるだけのことにはやっつけろ。
あとは自分を信じて、目の前の一つ一つの手続きに集中するだけ。
長瀬裕樹(東京)

オイ、コラ!人生頑張れ!
袴田優美(実践)

この道を行けば、どうなるものか?危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし。踏み出せばその一歩が道となりその一歩が道となる。迷わず行けよ、行けば分かるさ以下略→これ嘘ね
古山泰也(東京)

当日はもちろんそれまでの準備を含めて、自分のオリエンテリングまたはOLKへの思いの分だけ頑張り切ってください。自分のためと周りのため両方ともがんばると一番楽しいです。
渡辺裕己(東京)

インカレ参加費6000円。往復の交通費1万円。ゴールを駆け抜ける瞬間、Priceless。
荒川溪(東京)

MUSだけは譲れない。目指せ東大6連覇!
太田恒平(東京)

がんばれカカロット。
おまえがナンバー1だ!!
BYサイヤ人王子(コリン星☆)

みんなのこと応援します!ベストを尽くせますように☆
木下千歩(津田塾)

インカレという非日常を存分に楽しんで下さい。レースも応援も、思いっきりやっちゃって下さい。
西郷貴洋(東京)

今まで一生懸命練習してきた自分を信じて、持つ力を存分に発揮してください。みなさんの活躍、期待しています。
清水貴広(東京)

自分がミスをしているとき周りももっとミスをしています。落ちついて全力を出し切ってください。そしてインカレを楽しんでください!!
丹羽史尋(東京)

最後まで諦めずに、全力を尽くしてください!
古澤徹(東京)

インカレは青春だあ〜
三矢麻以(実践)

8回しかない舞台、あなたは8分の幾つですか?
十二分に楽しんで下さい。
山崎貴彦(東京)

結果がどうあれ、いつかいい思い出だと笑える日が来るでしょう。今を精一杯楽しんで下さい。
山崎真希子(実践)